

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第1区分

【発行日】平成27年4月23日(2015.4.23)

【公開番号】特開2012-193733(P2012-193733A)

【公開日】平成24年10月11日(2012.10.11)

【年通号数】公開・登録公報2012-041

【出願番号】特願2012-55260(P2012-55260)

【国際特許分類】

F 02 C 7/20 (2006.01)

F 23 R 3/60 (2006.01)

F 02 C 7/00 (2006.01)

F 01 D 25/00 (2006.01)

【F I】

F 02 C 7/20 B

F 23 R 3/60

F 02 C 7/00 D

F 01 D 25/00 U

F 01 D 25/00 X

【手続補正書】

【提出日】平成27年3月6日(2015.3.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ツールであって、

フレーム部から径方向に延びる取付け部を含む環状フレーム部と、
前記取付け部上に配置され、タービン燃焼器の筒形構成部品の部材に係合するようなサイズと形状のフック部と、
前記取付け部上に配置され、前記タービン燃焼器の一部に係合するように動作可能な力作用部と

を備えており、前記フック部が、前記フレーム部の回転軸と平行に配置された開口部を含んでいる、ツール。

【請求項2】

前記フック部が、前記開口部を画成するプレートを含む、請求項1に記載のツール。

【請求項3】

前記開口部が、第2の平坦面と概ね平行に配置された第1の平坦面によって画成される、請求項2に記載のツール。

【請求項4】

前記開口部が更に、第1の平坦面と概ね垂直に配置された第3の平坦面によって画成される、請求項3に記載のツール。

【請求項5】

前記第1の平坦面が前記フレーム部の平坦面と平行に配置される、請求項3に記載のツール。

【請求項6】

前記力作用部が、前記取付け部に係合する第1のねじ部材を含む、請求項1乃至請求項

5 のいずれか 1 項に記載のツール。

【請求項 7】

前記力作用部が、前記取付け部に係合する第 2 のねじ部材を含む、請求項 6 に記載のツール。

【請求項 8】

前記ツールが第 2 の環状フレーム部を更に含み、前記力作用部が、前記第 2 の環状フレーム部に連結される、請求項 1 乃至請求項 7 のいずれか 1 項に記載のツール。

【請求項 9】

前記力作用部が油圧ジャッキ部材を含む、請求項 1 乃至請求項 8 のいずれか 1 項に記載のツール。

【請求項 10】

前記ツールが更に、前記環状フレーム部上に配置されたハンドルを含む、請求項 1 乃至請求項 9 のいずれか 1 項に記載のツール。

【請求項 11】

前記力作用部が、タービンシステムの燃焼器部のねじ山付きオリフィスに係合するよう動作する、請求項 1 乃至請求項 10 のいずれか 1 項に記載のツール。

【請求項 12】

前記フック部がファスナで前記取付け部に固定される、請求項 1 乃至請求項 11 のいずれか 1 項に記載のツール。